
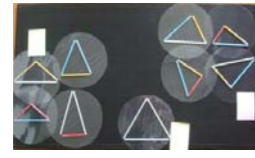




「意図的にユニバーサルデザインの視点をを入れる」こんな授業を実践してみませんか？



算数 小学3年 「三角形」

観	学習内容と活動	◎UDの視点からの支援 (調評価)
2	1 2年生の学習を振り返り本時の学習内容を確認する。	○2年生で学習した三角形の定義「3本の直線で囲まれている形」を確認する。
10	2 素材をつかむ。 3本のストローを選んで、できるだけたくさんの三角形を作ろう。 ○できるだけいろいろな形の三角形を作る。  ○ペアの友達と作った三角形を見合う。	◎できるだけいろいろな形の三角形を作るように助言する。 情-(3)-(I) 例 14(P25) ○同じ形の三角形を作っている場合は、違う長さのストローを選ぶように教師が声をかける。 ◎ペアの友達が作った三角形を見て気づいたことを二人で話し合うように声をかける。 学-(1)-(7)
15	4 三角形を分類する。 ○自力解決し、同じ仲間だと思うものはまとめて置く。 ・なぜ、同じ仲間にしたのか、理由を付箋に書いて貼っておく。 	◎作業板を用意し、仲間分けがしやすいようにする。 情-(3)-(I) 例 14(P25) 透明フィルムで固定した三角形は、形が崩れないため、操作活動が個に応じて容易に行え、思考を深めることにつながります。 ◎付箋を色分けしておくことで、仲間分けした三角形を整理しやすくする。 環-(3)-(I)

・「情-(3)-(I)」等の表記は、【どの子ども「わかる」「できる」を促すための支援内容一覧表】中の「視点-支援の目的-支援の工夫例」を示しています。
・「UD」はユニバーサルデザインの略です。



発行：千葉県総合教育センター
〒261-0014 千葉市美浜区若葉2丁目13番
TEL 043-276-1166 FAX 043-272-5128
*ヒント集に関するお問い合わせは、特別支援教育部あてにお願いします。
TEL 043-207-6023 (特別支援教育部)



【ユニバーサルデザインの考え方に学ぶ どの子ども「わかる」「できる」をめざす支援の工夫 ヒント集】は、千葉県総合教育センターホームページ (アドレス <http://www.ice.or.jp/nc>) から閲覧、ダウンロード可能ですので、是非ご活用下さい。

ユニバーサルデザインの考え方に学ぶ どの子ども 「わかる」「できる」をめざす 支援の工夫



【どの子ども「わかる」「できる」を促すための支援内容一覧表】

通常の学級で取り組まれてきた指導や支援を、「誰もが使えて誰もが便利」というユニバーサルデザインの考え方を取り入れて見直し、整理しました。
『情報提示』『環境整備』『学級集団づくり』の3つの視点、9つの支援の目的、25の支援の工夫例でまとめています。

「ユニバーサルデザイン」、こんな新しい言葉を聞くと、「新たに負担が増える？」と不安に感じることもありますよね。しかし、新しいことではなく、日頃、学級や授業の中でやっている「以前やったことがある」と感じたりする工夫もあります。
これまで通常の学級において行われてきた、学力向上をめざしたわかる授業づくりや一人一人の居場所がある学級づくりでの指導や支援と、特別な教育的ニーズのある子どもに対する支援を整理しました。
みなさんがそれぞれの学校や学級の実態に合わせて、アレンジして使っていただけることを願っています。



支援の工夫の **ヒント集** は、こちらからダウンロードできます。

HPアドレス
<http://www.ice.or.jp/nc>

即アクセス!

